

令和5年度

【東京海上日動火災保険株式会社 宮崎支店】

➤ 取組の詳細を教えてください

乳がん・子宮頸がん検診受診推奨策として、社内通知の発信、健康診断案内時の個別案内、メール配信を実施し、乳がんや子宮頸がんの罹患率、死亡率、早期発見時の治癒率、年代別受診率、がん検診Q&A等を記載することで受診へのモチベーションを高める工夫を施しています。

これらの各種情報提供の際には配信先を女性に限定せず、全社員に配信することで、女性の健康支援策の周知・理解を促し、家族や同僚といった身近な女性の健康を考える機会とすることをめざしています。

基本的に社員健康診断とがん検診は同日受診できるよう、保健師が日程調整しています。

また勤務時間中の受診も認められており、費用補助により社員は自己負担なく受診できるなど、様々な配慮をしています。

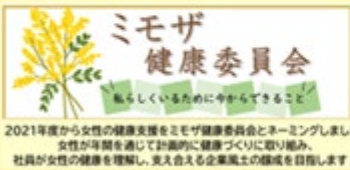
▼社内通知例

タイトル【2023年度乳がん・子宮がん検診のご案内 女性の健康支援～ミモザ健康委員会～】

社員の皆さまへ

男性の方もご家族や身近な方の健康を考える機会として参考にしてください。

東京海上日動健康保険組合(リンク)の被扶養者等健診(30才以上)の案内は2023年5月中旬送付予定。



定期的には乳がん・子宮がん検診を受診することは大切です。
3月8日は国連が定めた「世界女性デー」、イタリアではミモザを贈る習慣があるそうです。厚労省では毎年3月1日～8日を女性の健康週間としています。毎年この時期に改めて自身の健康診断結果や生活習慣等について振り返り、がん検診の受診日をご予定ください。

2021年度から女性の健康支援をミモザ健康委員会と連携しました。
女性が年間を通じて計画的に健康づくりに取り組み、社員が女性の健康を理解し、支え合える企業風土の醸成を目指します！

検診の受診はプレコンセプションケア(若い世代の将来の妊娠のための健康管理)にもなります。
詳細はこちら→T-tube～女性の健康～(■)

➤ 取り組みの直接的な効果や結果はありましたか

東京海上日動(全店)における受診率は以下の通りです。

指標	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
子宮頸がん検診受診率	66.0%	60.5%	62.8%	61.7%
乳がん検診受診率	81.1%	74.6%	77.8%	77.0%
前立腺がん検診受診率	76.0%	73.1%	75.6%	76.3%

女性特有のがん検診については、不安を訴える方に対して、検査について丁寧に説明することで受診に繋がるケースが多くあります。また実際にがん検診でがんが見つかり早期発見・早期治療に至ったケースもあります。

➤ **取り組み後の課題や今後の構想があればお聞かせください**

コロナ禍で低下した受診率は回復傾向にあるものの、コロナ前の水準には戻っていません。

がん検診の重要性、特に早期発見・早期治療の大切さについて周知を継続していきます。がん検診に不安を抱えている社員には産業保健スタッフが丁寧に説明するなど個別に対応し、不安の軽減に努め、安心して受診できるよう引き続き支援していきます。

また検診は受けただけでは意味がありません。

社員が自身の結果を的確に受け止め理解することも大切です。必要に応じて二次検査や早期治療に繋がるよう、産業保健スタッフによるきめ細やかなフォローを心がけていきます。

手術や入院など継続治療になった場合は、仕事と治療の両立ができるよう、職場と産業保健スタッフが連携し社員に寄り添い、必要な社内制度や公的支援も活用するなどしています。